3312	池　洋一	トマト	桃太郎

施肥　　有機質・土壌改良剤・化学肥料など（購入の場合はメーカー名記入）

＜土づくりの使用資材・肥料について＞

使用量はkg/10a

商品名	原料	ﾒｰｶｰ（購入先）	全N%	化成N%	全P%	化成P%	全K%	化成K%	有機率(%)	使用目的	計画 使用量	計画 使用時期	計画 回数	計画 化成窒素kg	実績 使用量	実績 使用時期	実績 回数	実績 化成窒素kg
ドリップファーム1号	硝酸肥料	タキイ種苗	10	10	20		20		0	生育初期	150	7～8月 毎日	60	15.0	150	7～8月 毎日	60	15.0
ドリップファーム2号	硝酸肥料	タキイ種苗	13	13	8		25		0	生育中後期	600	9～6月 毎日	300	78.0	282	9～6月 毎日	141	36.7
フィッシュソリューブル	魚	自家醗酵液							100	食味	20kg	9～6月 毎日	300	0.0	N成分 0.15k	毎日		0.0
ニガリ	海水								100	ミネラル	20L	7～6月 月2	24	0.0	少量	毎日		0.0
黒糖	サトウキビ	自家醗酵液							100	ミネラル	5kg	9～6月 毎日	300	0.0	少量	毎日		0.0
カルシウム88	貝化石Ca	フロサキシード							100	ミネラル	20L	7～7月 月1	12	0.0	少量	毎日		0.0
グリーントップ	海水　Mg	馬居化成							100	ミネラル	15kg	8～7月 月2	22	0.0	少量	毎日		0.0
プロリン	ゼラチン	サンセイ	5		3		2		100	アミノ酸	20L	9～6月 毎日	300	0.0	少量	毎日		0.0
シイタケパウダー	シイタケ	自家							100	アミノ酸	10g	7～7月 週1	52	0.0	少量	毎日		0.0
ケルパック	海草	ﾛｲﾔﾙｲﾝﾀﾞｽﾄﾘｰ							100	アミノ酸	300cc	7～7月 2ヶ月1	6	0.0	少量	毎日		0.0
トウゲン	各種総合酵素	酵素の世界社							100	健康保全	3kg	7～7月 週1	52	0.0	少量	毎日		0.0
米酢	米酢									殺菌	5L	7～7月 週1	52	0.0	500倍	7日毎		0.0

【慣行農法との比較】

*化学肥料

窒素分で比較して　当地比　－　割減

化学肥料	窒素使用量 (kg/10a)
慣行使用量	－
実績使用量	51.7

*節減対象農薬

当地比　－　割減

節減対象農薬	実績回数	地域の慣行防除
土壌消毒剤		
除草剤		
殺虫剤	15	
殺菌剤	4	
その他薬剤		
合計	19	－

病虫害の防除　　使用した天然防除資材・自作資材・農薬（成長調整剤、展着剤等を含む）

使用量/10a

分類	商品名	原料/成分名	ﾒｰｶｰ（購入先）	使用目的	計画 希釈倍率	計画 使用量	計画 使用時期	計画 回数	計画 カウント	実績 希釈倍率	実績 使用量	実績 使用時期	実績 回数	実績 カウント	使用回数上限 商品	使用回数上限 成分
殺虫	アルバリン粒剤	ジノテフラン	アグロカネショウ	アブラムシ類・コナジラミ類		1g/株	定植前	1	1		1g/株		1	1	1	5
殺虫	ベストガード水溶剤	ニテンピラム	住友化学	アブラムシ類・コナジラミ類	1000～2000倍	100～300L	夏	3	3	2000倍	300L	8/13	1	1	3	4
殺虫	アプロードエースフロアブル	フェンピロキシメート・ブプロフェジン	日本農薬	ダニ・コナジラミ類	1000～2000倍	100～300L	夏秋春	3	6	1000倍	300L	8/13	1	2	3	3,3
殺虫	ベネビアOD	シアントラニリプロール	丸和バイオケミカル	ハモグリバエ類・コナジラミ類・	2000倍	100～300L	秋春	3	3	2000倍	300L	8/21	1	1	3	5
殺虫	アプロードエースフロアブル	フェンピロキシメート・ブプロフェジン	日本農薬	ダニ・コナジラミ類	1000～2000倍	100～300L	夏秋春	3	6	1000倍	300L	8/21	1	2	3	3,3
殺虫	ノーモルト乳剤	テフルベンズロン	日本農薬	ハスモンヨトウ・コナジラミ類	2000倍	100～300L	秋春	2	2	2000倍	300L	9/20	1	1	2	2
殺虫	グレーシア乳剤	フルキサメタミド	日産化学	コナジラミ・トマトサビダニ・アザミウマ・ハモグリバ	2000倍	100～300L	夏秋春	2	2	2000倍	300L	10/8	1	1	2	2
殺虫	アプロードエースフロアブル	フェンピロキシメート・ブプロフェジン	日本農薬	ダニ・コナジラミ類	1000～2000倍	100～300L	夏秋春	3	6	1000倍	300L	10/8	1	2	3	3,3
殺菌	トリフミン水和剤	トリフルミゾール	日本曹達	葉かび病	3000～5000倍	150～300L	秋春	5	5	3000倍	300L	10/8	1	1	5	5
殺虫	ベネビアOD	シアントラニリプロール	丸和バイオケミカル	ハモグリバエ類・コナジラミ類・	2000倍	100～300L	秋春	3	3	2000倍	300L	10/26	1	1	3	5
殺菌	トップジンM水和剤	チオファネートメチル	日本曹達	葉かび病・灰色かび病	1500～2000倍	150～300L	秋春	5	5	2000倍	300L	10/26	1	1	5	6
殺虫	ベネビアOD	シアントラニリプロール	丸和バイオケミカル	ハモグリバエ類・コナジラミ類・	2000倍	100～300L	秋春	3	3	2000倍	300L	11/7	1	1	3	5
殺菌	トリフミン水和剤	トリフルミゾール	日本曹達	葉かび病	3000～5000倍	150～300L	秋春	5	5	3000倍	300L	11/7	1	1	5	5
殺虫	バリアード顆粒水和剤	チアクロプリド	バイエルクロップサイエ	アブラムシ類、コナジラミ類	4000倍	150～300L	夏秋春	3	3	2000倍	300L	11/15	1	1	3	3
殺虫	カスケード乳剤	フルフェノクスロン	BASFアグロ	コナジラミ類・トマトサビダニ・アザミウマ・ハモグリバ	2000～4000倍	100～300L	秋春	4	4	2000倍	300L	11/15	1	1	4	4
殺菌	ベンレート水和剤	ベノミル	住友化学	灰色かび病・菌核病・葉かび病	2000倍	100～300L	秋春	3	3	2000倍	300L	11/15	1	1	5	6
殺菌	カッパーシン水和剤	カスガマイシン・銅	MMAG	葉かび病・輪紋病・疫病・斑点細菌病・かいよう病・	1000倍	150～300L	秋春	5	0	1000倍	300L	11/25	1	0	5	5,-

備考:

独自の栽培方法です。一般の栽培には当てはまりません。10aの成分計算は一般とは大きく異なります。
（一般の栽培と比べ6倍くらいの反当りの栽培本数です。）
IPM総合防除方式をとり、殺虫剤を減らしています。防虫網や、ラノーテープ、忌避剤を使用し、
又、200台の通風機を使用して、外からの虫の侵入を防いでいます。
昨年と比べて、農薬の回数が多いのは、ウイルス病対策の為、使用する可能性のある農薬を載せました。
11月～2、3月期はボトキラー（バチルス菌）をダクト内に散布するのみとなります。

実績は　2025/1/20　現在。51.7kg　19回

栽培期間通して、化成肥料の化成窒素量　93kg、
農薬の計画回数　殺虫　35回、殺菌15回　合計50回

	計画（作業、施肥、防除など）	実績（作業）	実績（施肥）	実績（防除）
1月	収穫期	収穫期	ドリップファーム2号　毎日	
2月	収穫期	収穫期	ドリップファーム2号　毎日	
3月	収穫期	収穫期	ドリップファーム2号　毎日	
4月	収穫期	収穫期	ドリップファーム2号　毎日	
5月	収穫期	収穫期	ドリップファーム2号　毎日	
6月	収穫期	収穫期	ドリップファーム2号　毎日	―
7月	耕起	耕起・定植	ドリップファーム1号　毎日	
8月	定植・生育開花始まり	生育開花始まり	ドリップファーム1号　毎日	8/13 ベストガード（水溶）・アプロードエー
9月	生育開花	生育開花	ドリップファーム2号　毎日	9/20 ノーモルト（乳）
10月	収穫期	収穫期	ドリップファーム2号　毎日	(FL)・トリフミン（水）
11月	収穫期	収穫期	ドリップファーム2号　毎日	11/15 バリアード（顆水）・カスケード
12月	収穫期	収穫期	ドリップファーム2号　毎日	

定植開始:	令和6年8月2日
終了:	令和6年8月31日
収穫開始:	令和6年10月
終了:	令和7年7月